

令和7年度

パピーナ西荻北保育園

すくわくプログラム

テーマ： ことば

テーマを設定する

子どもたちが自分から描きたいと思う気持ちを大切にしながら、さまざまなせんがき（曲線、直線、丸、点など）を描くことで、運筆に慣れ、強い線を描く経験を積み、せんがきを楽しみながら探究する

活動 かたちの認識

直線を理解する

環境をデザインする

●準備した物 プリント、クレヨン

活動スケジュール

3歳児クラス

日にち	令和7年4月24日	
時 間	30	分
参加人数	15	人

探究活動を実践する

●活動内容

同じ色の花を見つける

目印まで線を描く

●子どもたちの様子

クレヨンのスナップを外して蓋を開けるのに少し戸惑う様子が見られた。「取れない～」と、クレヨンのお尻を下向きに押すと取りやすいことを伝え、「取れた～！」と嬉しそうな反応が返ってきた。「絵の中に誰がいるかな？」という問いに「うさぎさん！」「ピンク！」「旗だよ！」と運動会のイメージを膨らませて、「りんごをぐるっとして戻ってこよう」の声かけには、「よーいどん！」「1位だ！頑張れ！」と運動会ごっこのように楽しみながら、丁寧に線にかく姿が見られた。「花は何色かな？」「何個ずつある？」といったやりとりから、真っすぐな線にも挑戦。「真っすぐ！できた！見て見て！」と、うれしそうに見せてくれる姿や、慎重に線を引こうとする姿もあり、活動を楽しみながら取り組んでいた。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

個人用の新しいクレヨンを渡した。開け方が分からなかったり、クレヨンを取り出せなかったりすることがあったので各テーブルの様子を見ながら補助した。講師がクレヨンの色を指定すると説明を聞く前に書き始める児もいたが、目印の旗や動物を線で繋いだり囲んだりしていた。「できた」と喜んだり「先生、こう？」と確認しながら取り組んでおり、線が曲がらないように慎重にクレヨンを動かす児や目的地を目指して勢いよくクレヨンを動かす児がいたりそれぞれの姿が見られた。

講師より

「よーいどん！」と運動会ごっこのように楽しみながら線を描いたり、真っすぐな線に丁寧に挑戦する中で、描くことを楽しむ気持ちや意欲が育ってきていると感じた。

令和7年度

パピーナ西荻北保育園

すくわくプログラム

テーマ： ことば

テーマを設定する

子どもたちが「自分から描きたい」という気持ちを大切にしながら、いろいろな線の形に注目し、強い線を目指して、たくさん書くことで筆圧を身につける経験を重ねる。線の特徴や形、ひらがなを理解し、単に字を書けるようになることだけでなく、思考力、創造力、表現力を育て、言葉、文字への関心を広げることを目指す。

活動 センガキ（線描き）

直線を理解する

環境をデザインする

●準備した物 プリント、クーピー

活動スケジュール

4歳児クラス

日にち	令和7年4月24日
時 間	30 分
参加人数	15 人

探究活動を実践する

●活動内容

部屋の中で、同じような形を探す

直線を見て、特徴をみつけたり、表現したりする

文字の道を見て特徴をみつけたり表現したりする

●子どもたちの様子

「どんな線があるかな？」の問いかけに、「まっすぐがいっぱいある！」と元気に答える声があがった。「途中で途切れてるけど、最後まで書けるかな？」には、集中した表情で挑戦する姿が見られた。次のページでは、「お花がいっぱいある！」「2こずつある！」と反応し、「お花を同じ色で囲んでみよう」と伝えと、「きれい！と楽しそうな声が返ってきた。「丸ってどこから書くんだった？」の問いには「下から！」と覚えていたことを自信たっぷりに答え、丁寧に丸を描いていた。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

講師の様々な問いに答えながら、集中し意欲的に線を描く姿が見られた。ひらがなを書く場面では、線が曲がる場所にも意識を向け、書こうとする姿が見られた。

講師より

線や形を丁寧に描こうとする姿が多く見られ、これまでの経験を活かしながら楽しんで取り組んでいた。文字の道では、ゆっくり丁寧に進もうとする気持ちも感じられ、描くことへの集中力や意欲がみえた。

テーマ： ことば

テーマを設定する

子どもたちが「自分から描きたい」と思う気持ちを大切に、いろいろな線描きを経験しながら、書くことの正しい習慣を身に付け、自信をもって自分の名前を書けるようにする。単に字を書けるようになることだけでなく、経験を通じて思考力、創造力、表現力を育て、言葉、文字への関心を広げることを目指す。

活動 ひらがな・線描き

直線を理解する

環境をデザインする

- 準備した物 プリント、鉛筆

活動スケジュール

5歳児クラス

日にち	令和7年4月24日	
時 間	45	分
参加人数	15	人

探究活動を実践する

●活動内容

文字の特徴と文字がつく言葉を話す

直線を描く

●子どもたちの様子

「どうやって着陸してるかな？」の問いに、「気球が真っ直ぐ下に着陸してる！」「飛行機は下に行かないよ」「船は横に進むよ」「波があると真っすぐじゃないときもある」と想像をふらませ、動きや線のイメージを広げて描いていた。波を意識してうねうねしている線を描いている子もいたが「今日は真っすぐに進んでね」と声をかけると、意識を切り替え、丁寧に描こうとする姿があった。「次はどんな線？」「チクチクしてる！」「ギザギザ！」と楽しみにしながら取り組み、「進んで止まる」「すーびたっ」など、自分なりの掛け声とリズムで進める姿もあった。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

講師の指示を聞きながら、“真っすぐ”を意識して線を描いている児の姿が多く見られた。「まっすぐできた」「できなかった」と子ども自身がどのような線になったかに興味を持っている様子があった。

講師より

動きや形を想像しながら楽しく線を描いていた。声かけで意識を変え、真っすぐ丁寧に描こうとする姿も見られ、直線への理解が深まっていた。